# 止められるか、俺たちを 10.26(金)-

特別寄稿

## 脚本家 井上淳一さん よりメッセージを頂きました。

若松孝二監督が亡くなって、もうすぐ六年になる。その間、僕は三本の映画を作り、それを公開し、製作費を回収し、そのお金でまた映画を作るということがどれほど大変かを知った。若松さんはそれを五〇年もやってきたのだ。生前、師である若松さんのやり方に不満を覚えたこともあった。だけど、今なら分かる。なのに、若松さんはもういない。そんな僕にとって、この映画は若松さんに対する僕からの詫び状であり、感謝状であった。ようやく若松さんに、ごめんなさいとありがとうが言える。しかし、それは生易しい行程ではなかった。それは若松さんを撮った白石和彌も、演じた井浦新さんも同じだったのではなかろうか。

昔は印刷台本の一ページ目に「企画意図」を書いた。キャストやスタッフにこの映画はこういう想いで作るのだという監督や脚本家の意思表明みたいなものだ。今回、白石監督の意見で、この企画意図を台本に載せた。それをここにも載せる。想いの伝わる映画になっているか、皆さんの判断を待ちたい。出来るなら、一人でも多くの方の。

©2018 若松プロダクション

## 企画意図

映画が時代とともに疾走していた時代があった ―。

1960年代後半から70年初頭の若松プロがまさにそれだった。学生運動の興隆から敗北、内ゲバから武装闘争、若松プロが量産する映画はそういう時代の空気を敏感に感じ取り、映し出し、若者たちの熱狂的な支持を得ていた。それは若松孝二という圧倒的な求心力の元に集まった鬼才たちによるものだった。

その梁山泊に迷い込んだ一人の女性助監督。この映画は彼女を通して見た、若松プロの青春グラフィティーである。

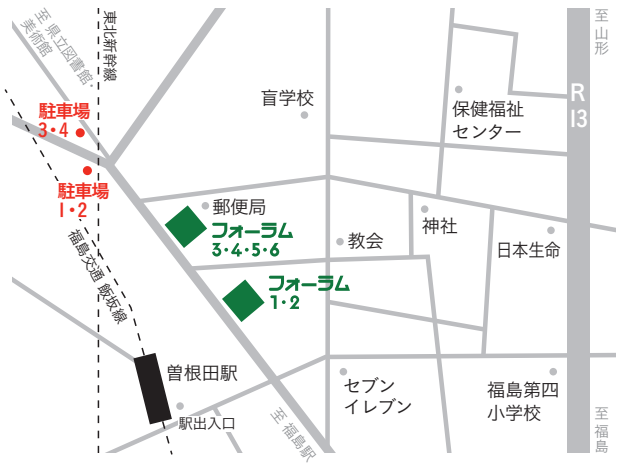
若松プロの映画はいつも「ここではないどこか」を探していた。彼女は果たしてそれを見つけることができたのだろうか?

若松は言っていた。「映画を武器に世界と闘う」「日本映画界をブチ壊す」と。

本作もまた、今のぬるま湯に浸かったような「世界」を、そして「日本映画界」を撃つ映画となることを信じて止まない。

【お詫びと訂正】
同企画掲載のマンスリーガイド10月号で、記事の中に誤りがございました。ここに深くお詫びし、訂正させていただきます。
企画意図2行目：×「1970年代後半から」→ ○「1960年代後半から」

## 劇場案内




上記駐車場をご利用のお客様｜※受付にてキーをお預かりしております。
※キーをお預かりしていない車両は駐車違反として対処させていただきますのでご注意ください。

**フォーラム福島1・2**
〒960-8051
福島市曾根田町7-8
TEL 024-533-1515

**フォーラム福島3・4・5・6**
〒960-8051
福島市曾根田町6-4
TEL 024-533-1717

## 料金

| | | | |
|---|---|---|---|
| 一般 | 1,700円 | 大学・専門学校 | 1,400円 |
| 幼児（3歳以上）・小学・中学・高校 | 1,000円 | | |

**割引サービス 1,100円**

- シニア割引 毎日 60歳以上
- ファーストデイ 毎月1日
- フォーラムデイ 毎月15日
- メンズデイ 毎週 月曜
- レディースデイ 毎週 火曜
- バースデイ割引 誕生日と前後3日間ずつ（計7日間）本人とお連れの方2名様まで

**割引サービス 1,000円**

- プレミアム会員 毎日
- 障がい者割引 障がい者手帳ご提示の方とお連れの方2名様まで

**割引サービス 1,300円**

- モーニングショー 平日午前1回目
- レイトショー 毎日 20時以降

**おふたりで 2,200円**

- 夫婦50割引 毎日 どちらかが50歳以上
- ふたりデイ 毎週 木曜

**割引券** 一般300円引 / その他200円引
有効期限 2018. 11.1 - 11.30
【5名様まで有効】※他サービスとの併用はできません
※特別上映・料金均一上映にはご利用いただけません

※3D作品は、当日料金＋300円となります。（＋3Dメガネ代）
※学生証のご提示がないと一般料金になります。 ※シニア割引・夫婦50割引をご利用の方は、身分証をご提示ください。
※夫婦50割引・ふたりデイをご利用の方は、同一時間の同一作品をご鑑賞の場合に限らせていただきます。 ※作品によっては特別料金の場合がございます。

さあ、今月は何を観よう？

# フォーラム マンスリーガイド

10

**フォーラム福島**
OCTOBER 2018
no.372

**フォーラム福島**（6スクリーン）
https://forum-movie.net/fukushima

PICK UP

10/26 -

©2018「旅猫リポート」製作委員会 ©有川浩／講談社

## 旅猫リポート

元野良猫のナナは、交通事故にあったところを心優しい青年・悟に助けられ、5年間、飼い猫として幸せに暮らしてきた。しかし、とある事情で悟はナナを手放さなくてはならなくなり、ナナと一緒に新しい飼い主を探して日本各地へ旅に出る。人気作家・有川浩の“一生に一本しか書けない物語”と言われるベストセラー小説が映画化！脚本には有川浩自らが参加し、主人公を福士蒼汰、ツンデレな猫・ナナの声を高畑充希が担当。猫好きならずともそのキュートな魅力にノックアウトされる、おかしくて切ない、心温まる物語。彼らの旅が終わる時、あなたはきっと幸せに包まれる―。

監 三木康一郎 原脚 有川浩
出 福士蒼汰/広瀬アリス 声 高畑充希
2018 / 日本 / 1h58

PICK UP

9/28 -

©2018「寝ても覚めても」製作委員会／COMME DES CINEMAS

## 寝ても覚めても

東京。朝子は亮平と出会い恋をする。仲を深めていく2人であったが、彼女には秘密があった。亮平は、かつて大阪で朝子が運命的な恋に落ち、突如姿を消した昔の恋人・麦と顔がそっくりだったのだ。好きだから同じ顔に見えるのか?似ているから惹かれるのか?なぜその人でなくてはならないのか―。同じ顔をした2人の男とその間で揺れ動く1人の女の8年間を、繊細かつスリリングに描く珠玉の恋愛映画。監督は、これまで数々の国際映画祭で主要賞受賞の経験を持ち、第71回カンヌ国際映画祭でも絶賛された気鋭・濱口竜介。鮮烈な商業デビューを果たし、日本映画の新境地を見せた。

監脚 濱口竜介 原 柴崎友香
出 東出昌大/唐田えりか/瀬戸康史/山下リオ
2018 / 日本 / 1h59

| 9 | 10 | | |